新しい道を切り拓いた いわての女性たち ⑤
岩手県初の女性校長、県児童課長
館下　チヨ

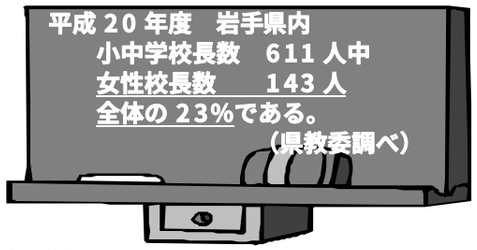
チヨは 1902 年（明 35）千島列島択捉(エトロフ)にて誕生、下閉伊郡新里村の出身である。

1922 年(大正 11)女子師範学校を卒業後、釜石の小学校を振り出しに、盛岡市城南小学校の教員を経て視学官となる。視学官とは旧制度において学事の視察や教員の監督を担う教育行政官のことである。女性視学官は初代の井筒キツに続いてチヨが 2 番目であった。その後に岩崎コヨが続くが、それ以降女性視学官はひとりもいない。

チヨが視学官となったのは、夫忠一郎と死別したあとのことであった。一男二女をかかえ家をひとりで切り盛りする傍ら、仕事においても養護教員や教員の人事に采配を揮い、その業績が認められ、1947 年(昭 22)手代森小学校の校長となる。チヨ、45 歳、県内の小中学校における初代女性校長の誕生であった。県民はこの抜てき人事に拍手を送った。女性校長の任期は短かったが、その先駆的な役割の功績はとても大きい。

当時全国各地の女性校長は、PTA 役員の総辞職や男性教員の辞職などジェンダーにまつわる様々な問題に直面していた。が、チヨは教学課の中でも「カァチャン」というニックネームで親しまれ、また何事にも動じない頼もしい存在であった。

そして翌 1948 年（昭 23）児童福祉法が施行され、県児童課長、福祉課長に任命、その後 1956 年（昭 31 年）には県任命制の教育委員に推され、1964 年（昭 39）まで 8 年の任期を務めた。



【参考図書】
・『結成五十周年記念誌』
　全国公立小中学校女性校長会（著）2000 年
・『岩手の婦人』岩手県（著）1981 年

● 女性相談（本館）

相談受付電話　019-604-3304

女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、専門の相談員が一緒に考えます。性別や社会通念にとらわれず、一人ひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、相談室はあなたらしい生き方を支援します。

- 相談には電話相談と面接相談があり、予約が必要です。
- 相談は無料です。秘密はかたく守ります。
- 相談開設時間

	10:00	17:00	20:00
月	10:00 ～ 17:00		
火	10:00 ～ 17:00		
水	10:00 ～	20:00	
木	10:00 ～	20:00	
金	10:00 ～ 17:00		

（第 2 火曜日、年末年始、祝日は休み）

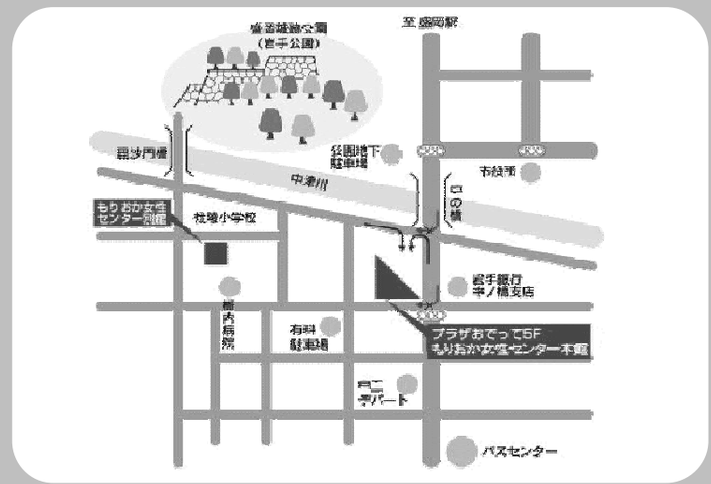
もりおか女性センター

管理･運営:特定非営利活動法人　参画プランニング･いわて

もりおか女性センターは、女と男がともに参画する社会をめざして女性をとりまく様々な問題を考え、解決するための施設です。男女を問わず、すべての市民が気軽に利用できます。

■ 本館
〒020－0871 岩手県盛岡市中ノ橋通 1-1-10 プラザおでって 5 階
電話番号　（019）604－3303　FAX　050-2013-4750
開館時間　月曜日～金曜日 9：00～21：30（土日祝 17：00 まで）
休 館 日　毎月第 2 火曜日、年末年始

■ 別館
〒020－0878 岩手県盛岡市肴町 2－8（旧盛岡市働く婦人の家）
電話番号　（019）624－3583（FAX 兼）
開館時間　月曜日～金曜日　9：00～21：00
休 館 日　土曜日、日曜日、祝日、年末年始



（バス）
盛岡駅より茶畑・バスセンター方面行き　バスセンター前下車
本館まで徒歩 3 分、別館まで徒歩 8 分

※女性センターには、本館・別館ともに専用の駐車場はありません。
　おでって地下駐車場や近隣の有料駐車場をご利用ください。

ホームページ　http://mjc.sankaku-npo.jp

あとかき

◆女性センター別館（旧盛岡市働く婦人の家）の建物を知っていますか？昭和 48 年に建設された古い建物ですが、その当時はモダンな建物だったと思います。今回、老朽化のため正面の斜路を解体し、また違う景観となりました。工事の３ヵ月間、閉館となりご迷惑をおかけしましたが、また３月１日よりオープンしましたのでご利用ください。（N）

◆年月が描く軌跡と成長。大切なものが増えていく。同時に失いたくないものも多くなる。喜びや悲しみの振り幅も大きくなる。それは人生が豊かになるということでもある。しかし大切なものにも必ず別れが来る。人生はだから辛い。しかし人生はだから明るい。と思う日々。今年度もこれで終わり。１度でも読んでくださった皆さんありがとう！（M）

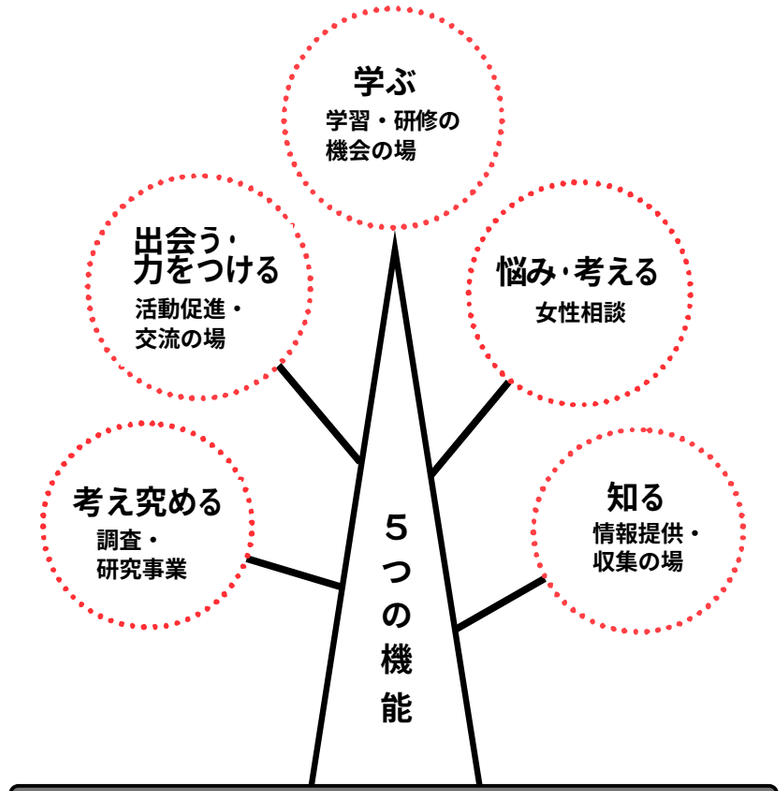
－女と男（ひと　ひと）、ともに参画する社会をめざして－

もりおか女性センター

ニュースレター

2010 年
3 月
No.23

内容
◎ ２１年度開催講座の報告
◎ 図書コーナーより
◎ 新しい道を切り拓いた いわての女性たち　　など



平成 21 年度事業テーマ『広げよう、わたしたちの学びと行動を！』

発行 ： もりおか女性センター

● 21年度開催講座の報告

もりおか女性センターでは、
『広げよう、わたしたちの学びと行動を！』をテーマに、
男女共同参画に関わる事業に取り組みました。

5月 「私とつながる歴史に出会う　自分史講座」（全３回）

60 歳以上を対象にした自分史講座の入門編。20 人が参加。〝誰に何を伝えたいか〟グループワークで印象に残る 10 大事件を挙げ、自分の伝えたい 10 年をそこに重ねていく。講座をきっかけにそれぞれの歴史に新事実が判明したとの声があちこちから出、思いを深めていく姿が印象的でした。またセンターフェスティバルの展示部門に参加。作り上げていく中で、参加者同士の交流もさらに深まりました。

6～1月 「思いを力に変える、女性のためのエンパワーメント塾」（全8回）

平成 11 年６月に「男女共同参画社会基本法」が施行され 10 年が経過し、変わった部分と変わらない現状について検証する機会となりました。

また、女性たちのもっている“思い”を“力”に変えて社会的な活動に結びつけていくために、講義とグループワーク、講座運営への参加（会場設営・受付・進行・日誌の記入など）や講座通信の作成（任意参加）などを通して、“学び合い”の中から個々の“力”につながりました。

受講生の皆さんから、女性の問題を自分自身にひきつけて考える事ができた、仲間からの応援メッセージが力になり一歩をふみ出した、講師や受講生の皆さんとの出会いに感謝しているなど嬉しい感想をいただきました。

公開講座では多くの参加者が集まりました。

6～2月 ITを活用した女性農業者のための起業支援事業

「ＩＴを活用してわたし流アグリビジネスを始めよう！続けよう！」をテーマに、女性農業者を対象として１年間展開してきた起業支援事業ですが、２月 20 日に実施した「起業応援フォーラム」をもって全事業が終了しました。

当初は、「ＩＴなんてサッパリわからない」「農作業が忙しくてパソコンどころじゃない」という声も多かったのですが、この１年で 150 人の方が本事業にご参加くださいました。

起業応援フォーラムで、起業講座に参加した女性たちが堂々と発表する姿を見て、岩手の女性たちのさらなる可能性を実感しました。まもなく、女性センターの起業支援事業は４年目に突入します。女性たちが自分らしく仕事をしていくための支援を今後も展開しますので、どうぞご期待ください。

起業応援フォーラムでの、講演と販売ブースの様子

＜平成 21 年度に実施した起業講座一覧＞
- アグリ起業芽でる塾入門編 part１、part２、ブラッシュアップ編
- メンターを探そう！女性起業家交流会
- 女性農業者のためのパソコン入門講座
- アグリ起業パソコン活用講座（ネットショップ・ブログコース）
- アグリ起業インターネット活用セミナー
- かんたんホームページ作り体験セミナー
- 起業応援フォーラム～続けよう！わたしのアグリビジネス～

●予告！起業応援ルーム「芽でるネット」オープン

今年５月から、女性センター別館内に、ＩＴを活用して女性の起業を応援するルーム「芽でるネット」がオープンします！ＩＴ（情報技術）を女性たちがもっと活用して、自分らしく働くためにサポートします！詳細が決定次第、専用サイト「起業応援ナビ」などを通じて発表します。

※その他、１～２月に「就労をめざすシングルマザー応援パソコン基礎講座」（全４回）を実施しました。
３月１４日に「シングルマザー暮らし安心セミナー」（全１回）を開催します。

6,8月 「言葉にしよう自分の気持ち～自己表現講座～」（全5回×２期）

相手にわかってもらいたい！私の考え方はヘンかしら？などコミュニケーションの難しさを感じる時、「私は私のままで大丈夫！」と自己肯定感情を広げるとスムーズな対人関係の扉を開けられます。５回の連続講座では、表現方法を学んだりおしゃべりタイムでいろいろな思いを共有しました。さらなるスキルアップのために自主グループもできました。

12月 男性応援講座「サックリ、サクサク弁当男子♪」（全３回）

弁当作りから始める「生活力アップ！５つの楽しみ」として、①節約、②エコ、③健康、④時間管理、⑤モテる？をキーワードに開催しました。料理初心者の皆さんは、包丁の持ち方・切り方、調理の簡単ヒントや節約のコツ等を学びました。

「にぎらない（？）おにぎり」を作り家族から喜ばれたこと、My お弁当箱への盛り付け方も大変参考になった等感想をいただきました。

なお、受講生のみなさんによる自主グループが立ち上がり、今後の活動が一層楽しみです♪

にぎらない（？）おにぎりの完成！

2～3月 女性のからだとこころを考える講座「女性外来って、どんなところ？」（全３回）

男女の性差に着目した「女性外来」という新しい医療の取り組みを知り、女性の体の変化の大きいプレ更年期から更年期世代の女性が抱えるさまざまな体と心の健康について考える講座です。申込が殺到し皆さんの関心が高いことを実感しました。現在、２回の講義が終了し、最終回は健やかな生活を送るために、病気の予防や健康維持につなげるための軽運動を行い自分で出来るケアを学びます。

お知らせ

次年度（２２年度）事業テーマ：
「女性センターで発見する　わたしのチカラ　みんなのパワー」
右記のとおりの事業を予定しています。その他の各種講座の情報などの詳細は、広報もりおか等にてご確認ください。

- 男女共同参画週間もりおか展　開催日：2010/6/12～20
- もりおか女性センターフェスティバル　開催日：2010/10/8～10
- 女性に対する暴力をなくす運動　開催日：2010/11/13 から

● 図書コーナーより（本館）

新しい本が入りました。ご利用ください。

三上信夫が残した、もう一つの「昭和史」。写真集「まなぐ」

三上信夫（写真）加藤大志朗（編集・発行）リヴァープレス社　2010 年

岩手がまだ「日本のチベット」と呼ばれていた昭和 20～30 年代。北上高地に生きる母親や子どもたちに寄り添い、写真に記録し、ガリ版刷りの文集を発行し続けた三上信夫さん（1927～2008 年）の写真集。当時の風土、人々の表情、厳しい暮らし、三上さんの温かなまなざしを通したもう一つの“岩手の昭和”が記録されています。その温かさが伝わってくる１冊です。

「岩手の保健」（復刻版）　第１巻～第３巻（１～２６号）

解説：北河賢三／金沢文圃閣　2009 年

「岩手の保健」は岩手県国民健康保険団体連合会の機関誌として 1947 年に創刊され、最新号は 197 号を数え 60 年余りの歴史があります。生活と思想・文化にかかわるさまざまな問題を積極的に取り上げ、異色の保健雑誌として反響を呼び、県内外から注目されるようになりました。今回、創刊号～84 号までが 14 巻に分けて復刻されます。私たちが命や健康、家族の問題などを考える上で参考になる１冊です。

DVD「纏足（てんそく）～10センチの黄金蓮花をさがして」（2004 年　中国／カナダ　48 分）

※「女たちの映像祭・大阪」上映作品／日本語字幕制作“波をつくる女たち”

中国には「娘を愛するなら纏足（てんそく）を、息子を愛するなら勉強を」という故事があります。

この映画は、10 世紀に始まり、幾世紀にも渡って続けられてきた中国の風習を描くドキュメンタリーです。それは「女性の足を布で縛って大きくしない」などという生やさしいものではなく、中国女性に苦痛と深い屈辱を与え続けてきた歴史的暴力といえましょう。纏足に苦しんだ女性たちへのインタビューから、女性の美は誰のために？何のために？を問いかける作品です。